

## 【研究主題】

自ら進んで考え、判断して、よりよく生きようとする児童の育成  
—「特別の教科 道徳」における主体的・対話的で深い学びを通して—

# 第2学年 道徳科学習指導案

日時 平成30年10月31日(水)第5校時

第2学年3組 26名

授業者 手塚奈緒

- 1 主題名 人に親切にする B—(6)親切、思いやり
- 2 資料名 「かっぱわくわく」(『新しいどうとく』東京書籍)

### 3 指導観

#### (1) 価値観

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることは、より良い人間関係を築く上で求められる基本姿勢である。自分のことばかり考えたり、自分の考えばかりを主張したりするのではなく、相手の立場を自分に置き換えて推し量り、思いやりを持って接することが大切である。

そのために、様々な人との触れ合いの中で、相手の気持ちを考え、優しく親切に接することの大切さを知り、相手の喜びを自分の喜びとして捉えられるようにさせたい。

#### (2) 児童観

##### 【道徳アンケートから】

質問 あなたは、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしていますか。

質問	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
	33%	42%	25%	0%

本学級は、友達や1年生に優しく接し、親切にすることのできる児童が多い。泣いている友達に声をかけて慰めたり、具合の悪い友達や休んでいた友達に「大丈夫？」と話しかけ、担任に教えてくれたりする姿も見られる。運動会のダンスや算数の計算、体育の縄跳びなど、わからなかったりできなかったりして困っている友達にやり方を教えたり、できた時には拍手をして褒めたりする姿も多く見られる。また、毎日の帰りの会では、「今日のキラキラ」として、友達に親切にされたことや嬉しかったことを発表する活動を1年生のときから続けている。

一方で、事前に学級でとったアンケートでは、進んで親切な行動を「あまりできていない」と答える児童が4分の1いた。授業中や休み時間には、自分の考えが正しいと思うあまり、行動や理解のペースが遅い友達に強い口調で指摘したり、「間違っていることをしているなら責められても仕方がない」と厳しい

言葉で責めてしまったりする場面が見られることもある。また、教師や保護者など周囲の大人に認められたい、褒められたいがために、親切にしていると思われる場面もある。

そこで改めて、相手の気持ちを考え、親切にすることで、相手も自分もよい気持ちになることに気付かせたい。

### (3) 資料観

元気と勇気が湧く「わくわく水」を頭の皿に入れて出かけたかっぱのかんすけたち。途中で、かんすけは困っていた子ぎつねや小鳥に「わくわく水」を分けてあげる。帰り道に迷い困ったかんすけたちは、小鳥や子ぎつねに助けられる。仲間のすつくとざんごも、相手に親切にすることの大切さに気付くという物語である。

困っている小鳥と子ぎつねに親切にするかんすけに対して、早く遊びに行きたいすつくとざんごの気持ちと、その気持ちの変化する様子が、児童にとって共感しやすい教材である。

中心発問では、小鳥と子ぎつねに親切にしたかんすけに対するすつくとざんごの気持ちの変化を考えさせ、ねらいにせまるようにする。そのために、第一発問では、かんすけの親切な行動を肯定的に捉えていないすつくとざんごの気持ちを考えさせる。

この資料を通して、自分が困っている人に進んで親切にすることで、相手も自分もよい気持ちになれることに気付かせたい。

## 4 ブロック分科会の取組

### (1) 指導案作成において話題になったこと

- ・目指すべき「親切」の価値や、ねらいの設定について
- ・教材文が長く、話が複雑なので、いかに簡単に児童にあらすじをつかませるか
- ・中心発問に向けて、どの発問を厳選するか
- ・後段で、自分の生活に振り返らせるために、どのような発問をすればいいか

### (2) 指導案作成までの取組

- 7月29日 学年で内容項目、単元について検討。
- 10月11日 第1回指導案検討会。全体の流れについて検討。
- 10月15日 第2回指導案検討会。低学年ブロック(研究主任を含む)で、全体の流れを再度検討。
- 10月17日 校長先生と本時について検討。その後、学年で情報交換。
- 10月25日 山元先生(2年1組)による事前授業。
- 10月26日 第3回指導案検討会。低学年ブロック(研究主任を含む)で、導入や後段など本時の展開の変更点、分科会提案について検討。
- 10月30日 校長先生と本時について再度検討。

## 5 研究主題に迫るための手立て

	主体的な学びを導くために (他人事ではなく、自分自身のこととして考えるために)	対話的学びを導くために (友達の考えから共通点や相違点を発見するために)	深い学びを導くために (自分の考えをより深めたり、改めたりするために)
発問の工夫	<教材文の理解> 教材文のポイントを教師が押さえることで、発問に対して児童が考える時間を確保する。		<問題場面への実践> 自分の経験と結び付けて、親切にできなかった時や親切にできた時の気持ちを振り返らせる。
学習形態の工夫		<他者との意見交換> すくくとざんざの気持ちの変化を考え、友達の意見を聞くことで、様々な考え方があることに気付けるようにする。	
児童の意識把握のための工夫	<事前アンケート調査> 自分自身・人との関わりに関するアンケート結果から内容項目を決めることで、児童の意識を正確に把握できるようにする。		<事前のアンケート調査> 導入部で、ねらいとする道徳的価値に関する内容のアンケートを紹介し、自分事として捉えられるようにする。
評価のための工夫			<ワークシート> 自分の生活を振り返り、親切にした経験を思い返すことで、親切にすることの良さに気付けたか評価する。

## 6 学習指導過程

### (1) 本時のねらい

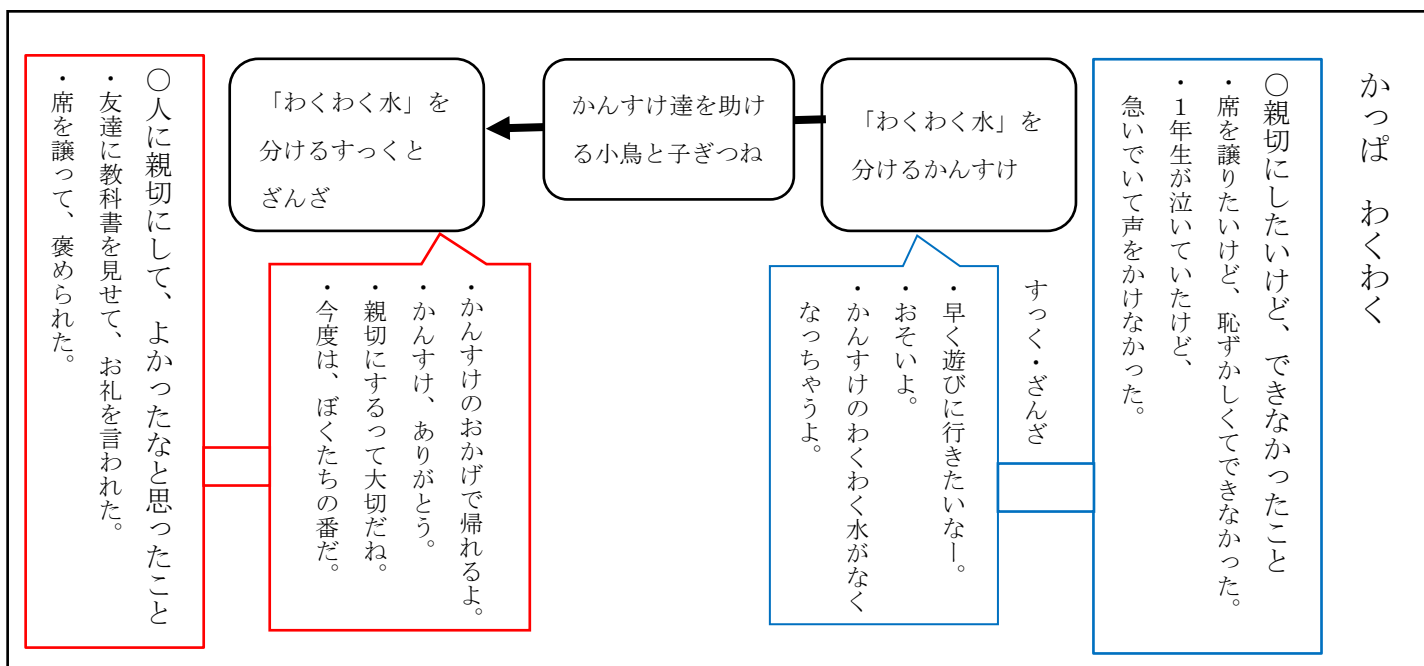
かんすけに対するすつくとざんざの気持ちの変化を話し合う活動を通して、親切な行動をすることのよさに気付く。

### (2) 本時の展開

過程	時間	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ・予想される反応)	◇指導上の留意点 ◆評価 (方法)
導入	5分	<p>1. 親切にしたかったけどできなかった経験を発表する。</p> <p>○これまで、親切にしたかったけど、できなかった経験はありますか。</p> <p>・けがをしている友達がいたけれど、他の子が助けると思って助けなかった。</p> <p>・お母さんが忙しそうだったけど、本を読みたくて手伝わなかった。</p>	<p>◇事前に、親切にできなかった経験についてアンケートをとる。</p> <p>◇何人かの児童に発表させる。</p>
展開 前段	20分	<p>2. 「かっぱ わくわく」を読んで話し合う。</p> <p>○すつくとざんざは、小鳥と子ぎつねにわくわく水を分けるかんすけをどう思っていたのでしょうか。</p> <p>・おそいなあ。</p> <p>・早く遊びに行きたいよ。</p> <p>・かんすけのわくわく水がなくなったらどうするんだ。</p> <p>◎かんすけに「わくわく水」を分けてあげたとき、すつくとざんざはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>・「早く。」と言ってしまって、ごめんね。</p> <p>・かんすけのおかげで帰れるよ、ありがとう。</p> <p>・人に親切にすることって大切だな。</p> <p>・次は、僕たちの番だ。</p>	<p>◇登場人物のかっぱは、お皿の水がなくなると、元気がなくなってしまうことを押さえる。</p> <p>◇教科書を開かせ、朗読を聞きながら話を追わせる。</p> <p>◇かんすけは、小鳥と子ぎつねに親切な気持ちで「わくわく水」を分けてあげたことを押さえる。</p> <p>◇すつくとざんざが、かんすけの行動を肯定的に捉えていないことを押さえる。</p> <p>◇導入の児童が親切にできなかった経験と、すつくとざんざの行動に共通する部分があることを押さえる。</p> <p>◇小鳥と子ぎつねが、かんすけの親切なお礼に、道を教えてくれたことを押さえる。</p> <p>◇すつくとざんざの気持ちを、ワークシートの吹き出しに書かせる。</p>

展開 後段	10分	<p>3. 自分の経験を振り返る。</p> <p>○これまで、人に親切にしてよかったなと思ったことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に教科書を見せてあげて、「ありがとう。」と言われて嬉しかった。</li> <li>・席を譲ってあげて、褒められたので、譲ってよかったと思った。</li> </ul>	<p>◇すつくとざんざ、かんすけが親切にしたときの気持ちと自分の経験を重ねて考えられるようにする。</p> <p>◆自分の経験から、進んで親切にした時の気持ちを振り返り、その大切さに気付いたか（ワークシート）</p>
終末	5分	<p>4. 教師の紹介する詩を聞く。</p>	<p>◇今の2年3組の人間関係が小さな親切でできているという内容の詩を示す。</p>

## 7 板書計画



# かっぱ わくわく水

名前 )

1. すっくんとおぼろは、どんな気持ちでかんすけに「わくわく水」をわけてあげたの  
でしょいか。

Blank writing area with five horizontal dashed lines for the first question.



2. これまで、親切にしてよかったなと思ったことは、どんなことですか。

Blank writing area with five horizontal dashed lines for the second question.